

# 自治会・町内会加入促進にかかる取組事例の共有について

## 1. 主旨

地域コミュニティの根幹である「顔の見えるつながりづくり」に向けた、自治会・町内会単位といった身近な生活圏域（第一層）の活動に目を向け、その活性化に対するサポートを積極的に進めていく必要があり、これまで区長会議として、各区で把握している実態を収集、分析等したうえで方向性を示し、事例を共有化するなどして、各区での支援策の検討や具体的な取組みにつなげてきた。

今年度は、令和4年5月13日の区長会議くらし・安全・防災部会において、「自治会・町内会の加入促進」を部会課題管理の項目として位置づけ、さらなる取組として「加入が促進されている地域や転入者（主にマンション）向けの区役所や地域の取組を取材」し、「取材の好事例等を取りまとめ部会へ報告」することが確認された。

## 2. 取材概要

- ①取材方法 市民局職員が区役所にお伺いしての情報収集（ヒアリング）
- ②取材時期 5月 東成区  
6月 鶴見区、西成区、港区、淀川区、浪速区、天王寺区、西区  
7月 東淀川区、大正区、城東区、中央区  
8月 阿倍野区、福島区、北区、旭区、西淀川区、住之江区、平野区、東住吉区  
都島区、此花区、住吉区、生野区
- ③取材時間 各区 1時間程度

### 3. 自治会・町内会加入促進にかかる取組事例

#### テーマ① メールでの直接申込（鶴見区）

取組名称	QRコード付き町会加入促進リーフレットの作成
参画している主体	鶴見区各連合振興町会、鶴見区まちづくりセンター、区役所
取組概要	<p>町会加入促進リーフレットを作成し、裏面に鶴見区各連合振興町会別の連絡先を掲載。 （掲載内容）連合名、住所、問合せ先、URL、QRコード</p> <p>【参考】QRコード読み取り後の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 読み取り後、Googleフォームに必要事項を記入して送信</li> <li>② 地域会館のPCに①で送信した内容がメールで届く</li> <li>③ ①の内容を確認し、該当住所の町会長に地域内で加入希望者の連絡先等を引き継ぐ</li> <li>④ 町会長から加入希望者へ連絡</li> </ol>
取組を行う中での課題	これまでの手順（電話による問合せ）を大幅に見直すことへの抵抗感が地域にあった。 Googleフォームの作成を地域のみで行うことは難しく、支援が必要であった。
中間支援組織のかかわり方	Googleフォームの作成支援を実施。
行政のかかわり方	町会加入促進リーフレットは、これまでも区において作成してきた経過があったが、よりICTを活用した運営に切り替え、手続きの簡素化と事務の軽減を図ることを目的に提案を行った。
取組のきっかけ	加入を希望した場合、これまでの手順では「加入希望者」の負担が大きく、途中で面倒くさいと感じ加入を断念することが想定されるため、地域・加入希望者ともに楽になる方法はないかと検討し、Googleフォームの活用を提案し、導入した。
取組を行う中で工夫した点・苦労した点	地域への丁寧な説明。全地域（連合単位）へ訪問し、変更点や変更した場合の課題を聞き取りを行った。 Googleフォームの作成マニュアルをまちづくりセンターで作成してもらった。

## テーマ① メールでの直接申込（住之江区）

取組名称	QRコード付き町会加入促進チラシの作成
参画している主体	住之江区連合振興町会、住之江区まちづくりセンター、区役所
取組概要	町会加入促進チラシを作成し、表面に活動内容がイメージできるような写真と関連するHPをQRコードで紹介。裏面に地域振興会事務局（電話番号とQRコード読み取りによるGoogleフォームによる問い合わせ先）及び連合振興町会別の連絡先を掲載。
取組を行う中での課題	Googleフォームの作成を地域のみで行うことは難しく、支援が必要であった。
中間支援組織のかかわり方	QRコードのリンク先にあるHP情報を充実するなど今後検討する。
行政のかかわり方	活動内容がわかる写真を掲載し、QRコードを使用してリンク先のHPの情報を得やすくし、地域振興会事務局への加入手続きを電話とGoogleフォームを使用して対応ができるようにすることで担当者と申込者の負担軽減を図る。 今後、様々な場面でチラシを活用した啓発を行う。
取組のきっかけ	町会加入促進チラシは、これまでも区において作成してきた経過があったが、情報量が少なく、問い合わせ先が区役所となっていた。紙面やQRコードを活用することで、地活協の活動内容や町会加入のメリットなどをわかりやすく紹介し、加入の問い合わせにGoogleフォームを活用するなど、少しでも多くの区民に町会加入してもらえるよう新しくチラシを作成した。
取組を行う中で工夫した点・苦労した点	他区（鶴見区や阿倍野区）の事例を参考に、若い人にも目に留まりやすいようにQRコードによる関連先HPの紹介や地域振興会事務局へGoogleフォームで問い合わせできるようにした。地域振興会事務局へGoogleフォームでの対応のお願いと作成支援を行った。

## テーマ② HPによる情報発信（東成区）

取組名称	単位町会長によるHP等の制作及び運営
参画している主体	単位町会長
取組概要	<p>【HP】 単位町会におけるHPを会長自身で制作した。 内容は、会則、決算収支（閲覧にはパスワードが必要）、役員名、大阪市のリンク 等</p> <p>【Facebook】 日頃の情報についてFacebookへ投稿している。 内容は基本的に地域のイベント、お知らせ 等</p>
取組のきっかけ	町会役員の連絡のために制作した。
取組を行う中での課題	町会長が変わったら引き継げるのかという意見もある。次の人へどう引き継ぐかは課題である。まずは更新方法さえ引き継ぎできたらと考えており、今はそこから取りかかろうとしている。
取組を行う中で工夫した点・苦労した点	<p>【HP】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPは、最低でも半月に1回更新している。防犯の取組みもしており、警察から情報をもらえるので、地域で事故が発生した時などはHPに反映している。</li> <li>・リンクを貼るときの著作権や、写真、名前等に注意している。</li> </ul> <p>【Facebook】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真だけではなく、言葉をしっかり入れないと足りないと考えており、Facebookに投稿する際は言葉をしっかり入れて、さらに詳しく知りたい方向けにはリンクで、という形にしている。</li> <li>・Facebookは投稿しても更新したら古い情報は流れてしまうので、Facebookには日ごろの情報を載せ、固定したい情報はHPに載せている。</li> </ul>

### テーマ③ マンションへのアプローチ（鶴見区）

取組名称	大規模マンション建設前における4者協定
地域概要	地域活動が活発であり、イベント系の開催も多く、住民間の結束も非常に強く、町会加入率も高い。
参画している主体	連合振興町会、町会、建設会社、販売業者
取組概要	大規模マンションの建設前の連合会長や町会長への事前説明時に、当該連合では建設会社と販売会社それぞれに対し、地域の役割や特徴等を詳しく説明し、地域活動・地振について理解を深めてもらい、建設工事前に「建設会社・販売業者」と「連合振興町会・町会」の4者で協定を締結している。 ※協定書の内容は「町会加入、工事期間や工程」に関する事など。
取組のきっかけ	町会加入率が低下している中で、如何に町会に加入してもらうかが課題であり、とりわけ大規模マンション等については、一旦入居してしまった場合に加入の呼掛けが難しく、また、集合型の説明会を開催することが出来ない状況である。
取組を行う中で工夫した点・苦労した点	建設業者は建設が、販売業者は販売が終われば、地域と関わらなくなるため、建設前に細部まで調整し、協定書を締結することが必要であるため、事前の協議は何度も実施した。 販売後に「町会加入説明会」を開催するように販売業者と調整し、マンションの自治会が開催される際に同席するなど説明の場を設けている。
取組後の成果	新規の大規模マンションの多くはマンション自治会が設立されるため、それに合わせて町会を設置することを提案し、町会加入及び町会の設置等がスムーズに進められている。

### テーマ③ マンションへのアプローチ（城東区）

取組名称	新築マンションにおける自治会・町内会の加入促進
地域概要	町会加入率は約80%で、区内の他地域に比べても高い水準である。
参画している主体	マンション管理組合、町会
取組概要	マンション販売事業者が地元町会に建築前の事前説明に来たタイミングで、町会長等町会役員から町会加入の必要性を説明。町会加入を条件とし、管理費に町会費を含めて徴取してもらうよう交渉している。
取組を行う中での課題	共益費の中に町会費が入っていて、勝手に町会費が引き落とされたということで、たまに揉めることがある。
中間支援組織のかかわり方	第一層支援に関する相談業務や、町会加入のメリットを簡潔にわかりやすく記載したチラシの作成を支援し、町会の希望に応じて活用している。
行政のかかわり方 （区役所の取組）	第一層支援を中間支援組織（まちづくりセンター）の支援事項として委託業務の仕様に入れる。大規模建築物の建築計画や、ワンルームマンション建築の事前協議情報を入手した際に、区役所で地図に落とし込んだ資料を作成し、当該連合町会長へ機を逸せず提供している。
取組のきっかけ	町会長の自発的な取組みによる
今後の課題	地域住民向けに町会や加入するメリットに関する説明が必要。様々な地域活動があり、混同されやすい。町会とマンション管理組合とが混同されやすい。町会役員と未加入者である地域住民が顔見知りでないため、怪しまれることもある。顔つなぎができるような体制や流れづくりが必要である。

### テーマ③ マンションへのアプローチ（阿倍野区）

取組名称	マンション防災を考えるセミナー
地域概要	マンションが多く、マンション住民の町会加入が進まない状況がある。
参画している主体	阿倍野区地域振興会（各連合振興町会、各町会）、各地域活動協議会
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりセンターへの委託事業として、マンション住民、管理組合理事、管理人、管理会社を対象に「マンション防災を考えるセミナー」を令和2年度にオンラインで実施した。</li> <li>・アプローチ方法としては、ホームページ等による検索及び、町会からの希望によりリストアップしたマンション（91件）の管理組合あてに案内を送付（マンションの防災担当者をターゲット）</li> </ul> <p>※リストは、ホームページ等により検索したものと、まちづくりセンターが地域へ声掛けし、地域からの希望をリストアップしたものを合わせたもの</p>
中間支援組織のかかわり方	本事業の企画立案、講師の選定・手配、マンションリストアップ・DM送付、地域役員・地域住民への広報、オンラインの運営。
取組のきっかけ	自治会・町内会への加入促進啓発を行うにあたり、各連合町会長にヒアリングを行ったところ、地域とのつながりが特に薄いマンション住民、管理組合、管理人、管理会社を対象にした事業を展開することが効果的であるとの意見があり、関心の高い「防災」をテーマにセミナーを開催することとなった。
取組を行う中で工夫した点・苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションのリストアップ…住宅情報HP等から阿倍野区内においてファミリー層が多いであろう間取り（2or3DK、LDK）をリストアップ。加えて地域役員から声を掛けたいマンションを挙げてもらい、主催者である区役所・まちセン名義でDMの送付を行った。</li> <li>・オンラインでの実施…当初、現地開催を予定していたが、コロナの影響により難しくなり直前でオンラインでの実施に切り替えた。地域役員は以前からのまちセンの支援もあり、オンラインに対応できる状況になっていたが、マンション役員の中にはオンライン参加ができなかった方もおり、その調整に苦労した。</li> </ul>